



# 志村学園

## 芸術の秋、スポーツの秋

校長 並木 信治

記録的な暖かさから一変、朝晩の冷え込みが厳しい、この時期らしい気候となりました。インフルエンザについては感染者数が減少に転じ始めているものの、これからが本格的な感染拡大時期であることを考えると、予断を許しません。引き続き、児童・生徒の健康管理に御理解と御協力をお願いいたします。

11月2日(木)・3日(金祝)の2日間、肢体不自由教育部門の文化祭が開催されました。御家族の皆様限定ではありましたが、4年ぶりに制約無く観覧していただくことができ、また、就業技術科の生徒たちとの対面での交流も再開することができたことを、大変嬉しく思います。文化祭に際し、各御家庭の皆様の御理解と御協力、そして子供たちへの温かな声援をいただきましたことに感謝申し上げます。

文化祭以外の場面でも、就業技術科介護・コミュニケーションコースの生徒たちが、肢体不自由教育部門小学部の児童に絵本の読み聞かせをする取組を始めました。先日は、リニューアルした図書室を会場に、3回目の読み聞かせ会が行われ、絵本の読み聞かせや自己紹介ゲームなどをとおして、楽しく充実した活動となりました。両部門一体となったこうした取組を、これからも大切にしていきたいと思っております。

就業技術科においては、部活動における生徒の活躍が光りました。鹿児島県で開催された全国障害者スポーツ大会では陸上部の代表選手が好成績を収め、東京都特体連バレーボール大会では男女とも優勝、サッカー一部は全国大会につながる東京都予選で優勝し、関東予選へコマを進めるなど、生徒たちの日ごろの練習の成果が発揮され、大変誇らしく思います。12月2日(土)には、就業技術科部活動まつりが予定されています。当日に向け、それぞれの部が意欲的に準備を進めています。生徒たちの全力の発表に、どうぞ御期待ください。

今年も残すところ1か月となりました。年末に向け慌ただしい日々が続くこととなりますが、今後も引き続き、教育活動への御理解、御協力をお願いいたします。



## 特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動 かがしま大会」報告

東京都選手団 陸上競技 コーチ 徳岡 壮平

志村学園より東京都選手団として、在校生、教員合わせて6名が 10月26日から11月1日の日程で特別全国障害者スポーツ大会 燃ゆる感動鹿児島大会へ派遣されました。団体競技では、サッカーが優勝し、バレーボールは男女ともに準優勝を果たしました。卓球競技と陸上競技ではメダルを獲得したり、大会記録を更新したりする選手もいました。

選手は慣れぬ環境で5泊6日もの長い遠征となりました。その中で「良い結果を出したい」というプレッシャーと戦い、共に競い合うライバルや仲間との出会いがあり、数日の期間ではありましたが大きな成長が見られました。大会を終え、学校での部活動において、より精力的に取り組み、他の部員を引っ張っていく姿が見られます。

次年度の全国障害者スポーツ大会は佐賀県での開催となります。「次は自分が」と意気込む生徒も見られ、学校として、生徒のスポーツ活動や夢を今後も応援していきます。

### <学校評価実施について>

12月4日(月)に「令和5年度 就業技術科 学校評価のお願い」のお知らせを配布いたします。保護者の皆様には、積極的な御意見をお聞かせ頂きたい、アンケートの御協力をお願いいたします。詳細につきましては、お知らせにて御確認ください。尚、生徒は校内で実施いたします。

## 肢体不自由教育部門『文化祭』における交流

学科主任 朝利 啓子

11月2日（木）～3日（金）に肢体不自由教育部門における文化祭が行われました。就業技術科より、ミュージカル部と音楽部の発表、美術部の作品展示、食品加工コースの焼き菓子販売、カフェでのサービス提供を通じて、交流を深めました。児童・生徒の皆さん、御来校いただいた皆さんに喜んでいただきました。笑顔が励みになりました。肢体不自由教育部門の児童・生徒の皆さんから『ありがとう』という言葉の入ったしおり』をいただきました。これからも一緒に時間を増やして楽しい時間を共有していきましょう。



## 総合文化祭音楽会 報告

音楽部顧問 浦野 文華

11月16日（木）音楽部は、渋谷区文化総合センター大和田のさくらホールで行われた東京都特別支援学校第32回総合文化祭音楽会に出演しました。

演奏した曲は、「ヒーズ・ア・パイレーツ 彼こそが海賊」と「パラダイス・ハズ・ノー・ボーダー」です。「ヒーズ・ア・パイレーツ 彼こそが海賊」は、ディズニー映画「パイレーツ・オブ・カリビアン 呪われた海賊たち」の劇中歌として作曲された曲で、全員で力を合わせて迫力ある演奏をすることができました。「パラダイス・ハズ・ノー・ボーダー」は、東京スカパラダイスオーケストラの代表曲の1つで、とてもノリが良くカッコいい曲です。これまでの練習の成果を発揮し、サビに向け段々と盛り上がっていきながら、部員一同楽しんで演奏することができました。演奏後は、御参観いただいた保護者の皆様や観客の方々から温かい拍手が送られ、部員たちにとって思い出に残る一日になりました。



## 台湾特別支援学校「台中市立啓聡學校」来校見学の様子

英語科 浦野 文華

10月31日(火)に、東京都国際交流コンシェルジュ事業の一環として、台湾より台中市立啓聡學校の皆様をお迎えして交流を深めました。生徒、教員、保護者の皆様、約30名が来校されました。

部活動見学・体験を中心に交流を深めました。美術部の見学では、本校の部員が水族館の生き物をテーマに油絵を描いている様子を興味深く見学していただき、気になったことを部員に笑顔で話し掛けている様子が見られました。サッカー部の部活動体験では、本校のサッカー部員と実際にゲームを行い、楽しんで活動している様子が見られました。試合後には一人ずつPKを行い、見事にゴールを決めた啓聡學校の選手は、嬉しそうに他選手とハイタッチをして喜んでいました。見守る両校の関係者からも大きな声援が飛び、スポーツを通じて、楽しい時間を共有することができました。施設見学の際には、通訳の方を介して、志村学園の職業に関する教科の取り組みや、実習室の様子を知っていただきました。

交流の最後の閉会式では、本校の代表生徒2名が出席し、啓聡學校の皆さんに記念品を贈呈しました。啓聡學校の皆さんからは、手作りの美術作品や心温まるお手紙など、たくさんの贈り物をいただきました。生徒同士が互いに「謝謝」、「ありがとうございました」と気持ちを伝え合う場となりました。

今回の交流では、部活動を通じて直接生徒同士が関わる中で、互いの国に興味をもち主体的にコミュニケーションを取ることができた機会となりました。

